

10月13日(金)広島地区の集いを開催します

ご来賓に中川日出男理事長、三谷高康院長・学長、渡辺信一中高校長をお迎えし、三谷先生に“私の半生”というテーマで、ご講演いただきます。三谷先生の達観されたような風貌からは想像もできない、意外な人生の展開に驚かれるかもしれません。

2023 広島地区の集い 2023年10月13日(金) 11:30～

@アンデルセン5F スカンジナビアホール 会費 6,000円

さて、昨年の10月14日広島地区の集いが3年振りに開催されました。

三谷高康先生は、2021年4月に院長・学長として就任され、広島地区には初めてお越しいただいたので、礼拝メッセージをいただきました。

「喜んで」と「楽しんで」とは良く似ている言葉だが、どう違うのか。「楽しんで」には、自分の要求が満たされるというニュアンスがあり、他方、「喜んで」と言う言葉には、誰かから依頼された時、お気遣いなく大丈夫ですよという意味で使用する。「喜んで」には他者のため自己犠牲をいとわないというニュアンスがある。愛の行いであるとのメッセージをいただきました。



ゲストは箏演奏家、北垣内秀響さん(高26回)。

箏曲宮下社名誉大師範としてご活躍の傍ら、40年以上も母校の高等学校箏曲部で後輩の指導をされています。渡辺校長先生からは、2022年度に卒業した生徒が高校生活では、箏曲部の活動が一番楽しかったと答えたとのエピソードが紹介され、指導者としての北垣内さんの懐の深さを垣間見た気がしました。また、北垣内秀響さんの演奏を聴くために初めて地区の集いに参加された方々、遠方よりわざわざご参加いただいた方々など、新しい参加者を連れてきてくださったようでした。

弦を張った琴という楽器は、中国から伝来し琴を弾く人の埴輪も多く残っています。その当時は琴柱(ことじ)を立てず演奏していました。琴柱を立てて音階を作る楽器を“箏”と呼び、箏は日本で生まれ独自の発達を遂げ、現在に至っています。



昨年の広島地区の集いには、高女卒の90歳代の先輩を始め、60余名が出席しました。

広島地区の集いでは、同期の方、年齢の近い方とお座りいただけるよう席割をしております。お一人でのご参加でも、見覚えのあるかつての上級生や下級生と同じテーブルに着くことができるよう心掛けております。お一人でもどうぞお気軽にご参加下さい。

また、広島地区以外にお住いの方であろうとも、同窓生であればどなたでもご参加いただけます。10月14日辺りに、もしも広島にお越しのご予定がありましたら、是非広島でのスケジュールの一つに加えていただき、讃美歌や校歌と一緒に歌い女学院生だった頃に戻って下さい。



なお、ご出席のご予約は9月29日までにハガキか電話(FAX可)にてお申込みください。キャンセルは3日前まで受け付けます。それ以降は会費をいただきますのでご了承ください。お申込みの際はお名前、卒業回、電話番号を教えてくださいと助かります。

〒730-0014 広島市中区上幟町11-32 広島女学院同窓会 Tel・Fax 082-221-1059 (月～金 10:00～15:00)